

知財の とりせし

知財の取り入れ方を考えるプログラム

京都信用金庫は地域に欠かせないコミュニティ・バンクを目指し、日々活動しています。地域の事業者が知的財産（以下、知財という）を導入して、地域の事業を知財で守ることで、経営がよくなったり、事業が発展していくことが大切だと考えています。そこで中小事業者様が、商品開発を行うだけでなく、知財を戦略的に活用できるようになる事を目的とし、地域企業・QUESTION会員様向けに、「知財導入セミナー」(全2回)と知財実践に向けた「個別相談会」(全4回)を開催いたします。みなさま是非ご参加ご検討の程、宜しくお願ひ申し上げます。また、セミナーや個別相談後にはQUESTION8階のDAIDOKOROにて、交流会を予定しております。新たな出会いの場として、またセミナーや相談会で得た知識や気付きを共有する場として是非ご活用ください。

開催場所

京都信用金庫QUESTION

〒604-8006

京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町390-2

知財導入セミナー

場所

京都信用金庫QUESTION 4F Community Steps

定員

各回30名

第1回

『イチから学ぶ知的財産～基礎編～』

知的財産とは？知的財産は大手企業だけのものではなく、中小企業こそ知的財産を活用することで経営の状況が変わります。実際に中小企業のメーカーが知財活用によってどのように経営が変わるのかについて知財活用のエキスパートと実際に活用した企業様をお招きし、事例をお話いただきます。

日時:2022年9月2日(金) / 18:30(18:00開場)~20:00

第1部

「知的財産とは？中小企業における知的財産の活用」
特許庁 総務部 総務課 業務改革室 課長補佐 横山 幸弘 氏

第2部

「自社の技術を守り、発展させる知財の活用方法」
株式会社クロスエフェクト 代表取締役 竹田 正俊 氏

第2回

『伝統工芸×知財～活用事例編～』

伝統工芸の事業者が知的財産をどのように取り入れて、経営状態をいかに変化させていったのか、実体験をもとにお話いただきます。

日時:2022年10月13日(木) / 17:30(17:00開場)~19:00

※第2回のみオンライン(Zoom)参加も可能

第1部

「伝統的工芸品と知財の次のカタチ」
有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役 金谷 勉 氏

第2部

「知財を活用した工芸の経営スタイル」
株式会社江戸切子の店華硝 取締役 熊倉 千砂都 氏

交流会

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催が中止になる場合がございます。

第1回

2022年10月13日(木)

時間

19:00~21:00

第2回

2022年11月22日(火)

場所

京都信用金庫QUESTION 8F DAIDOKORO

第3回

2022年12月20日(火)

申込方法は裏面に記載しております。

個別相談会

知的財産導入支援の実施として、INPIT 京都府知財総合支援窓口担当者、京都信用金庫営業担当者、有限会社セメントプロデュースデザインが知財導入を個別サポートいたします。

第1回 2022年9月15日(木) 11:00~14:00

第2回 2022年10月13日(木) 13:30~16:30

第3回 2022年11月22日(火) 13:30~16:30

第4回 2022年12月20日(火) 15:00~18:00

場所 京都信用金庫QUESTION

定員 各回5社

対象 会員様以外の一般の参加者も可能

登壇者紹介



特許庁 総務部
総務課 業務改革室 課長補佐
横山 幸弘 氏

2020年4月から2022年3月まで近畿経済産業局知的財産室室長として勤務。近畿経済産業局では、多くの中小企業が知的財産を活用したデザイン経営を実践できるよう、関西デザイン経営プロジェクトを率いると共に、関西の地域産業活性化に積極的に取り組んできました。2022年4月より、特許庁総務部総務課に所属。特許庁ではMVV(ミッション・ビジョン・バリュー)が策定され、Vision「産業財産権を通じて、未来を拓く『知』が生まれ、新たな価値が生み出される知財エコシステムを協創することで、イノベーションを促進する」の下、これからの知財制度・組織作りに携わっている。



株式会社クロスエフェクト
代表取締役
竹田 正俊 氏

1973年京都市生まれ。立命館大学卒業後、米国カリフォルニア州に留学。2001年株式会社クロスエフェクトを設立し、3Dデータを活用した高速試作サービスを開始。2011年には3D臓器シミュレーター開発を主とした株式会社クロスメディカルを設立。第5回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞を受賞。他受賞歴多数。2021年近畿経済産業局の知財活用支援プログラムを活用。知財への理解を深め、受託パターンに合わせた契約書の作成や、知財を活用した仕組みづくりを実施している。



有限会社セメントプロデュースデザイン
代表取締役/クリエイティブディレクター
金谷 勉 氏

1999年にデザイン会社「セメントプロデュースデザイン」を設立。大阪、京都、東京を拠点に企業のグラフィックデザインやプロモーション、商品開発のプロデュースに携わる。2011年から、全国各地での商品開発プロジェクト「みんなの地域産業協業活動」を始め、600を超える工場や職人との情報連携を進める。職人達の技術を学び、伝える場「コトモノミチ」を東京墨田区と大阪本社ビル1階にて展開。京都精華大学、金沢美術工芸大学、女子美術大学にて講師を務める。自著に『小さな企業が生き残る』(日経BP社)



株式会社江戸切子の店華硝
取締役
熊倉 千砂都 氏

3代目になる職人である弟の隆行と共に、江戸切子の店華硝の経営に携わる。商品開発から生産管理、イベント企画、知財管理、亀戸本店、日本橋店運営、江戸切子スクール運営、セミナー講師、ブランディング、伝統工芸・老舗の学問化、江戸切子に関わることはなんでも行っている。経済産業省主催の「地域資源事業活用計画」の東京都第一号認定など政府との連携プロジェクトにも多数参加。現在は東京都主催の「江戸東京きらりプロジェクト」にも参加し、旧岩崎邸での展示会にも出展している。会社経営をしながら、現在は博士課程で「伝統工芸と老舗」に関する研究を行っている。

セミナー・交流会・個別相談会
申込方法



ご参加ご希望の方は、
ご参加フォームより申してください
※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

・ご登録いただいた情報はプログラム開催についてのみ利用し、他の目的には利用しません。
・お客様の個人情報は、共同運営者である有限会社セメントプロデュースデザインに提供させていただくことがあります。

お問合せ先

MAIL:QUESTION@kyoto-shinkin.jp

京都信用金庫(担当者:荒尾・大隅)
有限会社セメントプロデュースデザイン(担当者:三嶋・川村)